

術前休薬の必要な薬剤 ～女性ホルモン剤～

分類	一般名	商品名	メーカー	休薬について	備考
卵胞ホルモン製剤	エストラジオール	エストラーナテープ0.09mg (院外)	久光	該当資料無し	半減期：2時間 約24時間で血中濃度おおよそ消失
		エストラーナテープ0.18mg (院外)			
		エストラーナテープ0.72mg			
	エストラジオール吉草酸エステル	ディビゲル1mg	持田	術前または長期臥床患者に対しては慎重に投与①	添付文書： 【慎重投与】術前又は長期臥床状態の患者〔血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなる可能性がある。〕
		ペラニンデポー筋注10mg	持田		
		エストリール錠1mg	持田		
エストリール錠0.5mg	持田	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬②			
結合型エストロゲン	プレマリン錠0.625mg	ファイザー	術前4週間(治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合は投与可)①	添付文書： 【慎重投与】手術前4週以内又は長期臥床状態の患者〔血液凝固能が亢進し、血管系の副作用の危険性が高くなるおそれがあるので、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〕	
黄体ホルモン製剤	クロルマジノン酢酸エステル	ルトラール錠2mg	富士製薬	休薬の必要性なし②	産婦人科限定
	ジドロゲステロン	デュファストン錠5mg	マイランEPD	休薬の必要性なし②	産婦人科限定
	ヒドロキシプロゲステロン カプロン酸エステル	オオホルミンルテウムデポー筋注125mg	あすか	休薬の必要性なし②	
	プロゲステロン	プロゲホルモン筋注用25mg	持田	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬②	
	プロゲステロン	ルティナス錠100mg	フェリング	休薬の必要性ないが、血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬②	産婦人科限定
	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	プロベラ錠2.5mg	ファイザー	休薬の必要性なし②	
卵胞ホルモン・ 黄体ホルモン 配合剤	ノルゲストレル0.5mg エチニルエストラジオール0.05mg	プラノバル配合錠	あすか	血栓症のリスクに応じて休薬②	半減期：24時間 約4週間で薬剤の影響なくなると考えられる
	ヒドロキシプロゲステロン カプロン酸エステル 125mg エストラジオール安息香酸エステル 10mg	ルテスデポー注	持田	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬②	
	エストラジオール0.62mg 酢酸ノルエチステロン2.70mg	メノエイドコンピパッチ (院外)	あすか	術前または長期臥床患者に対しては慎重に投与①	産婦人科限定 約24時間で血中濃度おおよそ消失 添付文書：【慎重投与】術前又は長期臥床状態の患者
	ノルエチステロン1mg エチニルエストラジオール0.035mg	フリウェル配合錠LD (院外)	持田	手術前4週間から術後2週間まで休薬、 産後4週間まで及び長期間安静状態についても休薬①	添付文書： 【禁忌】手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内及び長期間安静状態の患者〔血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなる可能性がある。〕
	ノルエチステロン1mg エチニルエストラジオール0.035mg	ルナベル配合錠LD (院外)	日本新薬		
	ノルエチステロン1mg エチニルエストラジオール0.02mg	ルナベル配合錠ULD	日本新薬		
	ドロスピレノン3mg エチニルエストラジオール0.020mg	ヤーズ配合錠 (院外)	バイエル		
	デングストレル0.15mg エチニルエストラジオール0.03mg	マーベロン28 (院外、自費)	MSD		
	ノルエチステロン エチニルエストラジオール	シンフェーズT28錠 (院外、自費)	科研		
性腺刺激ホルモン (ゴナドトロピン)	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	HMG筋注用75単位「F」	富士製薬	休薬の必要性なし②	
		フォルリモンP注75	富士製薬	休薬の必要性なし②	
	ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	HCGモチダ筋注用5千単位	持田	血栓症などに対し患者のリスクに応じて休薬②	
	フォロトロピンアルファ (遺伝子組換え)	ゴナールエフ皮下注ペン300 ゴナールエフ皮下注ペン900	メルクセローノ メルクセローノ	休薬の必要性なし②	
フォロトロピンベータ (遺伝子組換え)	フォリステム注300IUカートリッジ (院内)	MSD			
Gn-RH アンタゴニスト製剤	ガニレリクス酢酸塩	ガニレスト皮下注0.25mgシリンジ (院内、自費)	MSD	該当資料無し	半減期：34.8時間 半減期：11.8時間
排卵誘発薬	クロミフェンクエン酸塩	クロミッド錠50mg	富士製薬	休薬の必要性なし②	
黄体ホルモン (抗悪性腫瘍剤)	メドロキシプロゲステロン酢酸エステル	ヒスロンH錠200mg	協和発酵キリン	術後1週間、術前は4週間休薬し、血液検査で血液凝固能を検査する②	院内は産婦人科限定(基準外医療) 添付文書：【禁忌】手術後1週間以内の患者
卵胞ホルモン (抗悪性腫瘍剤)	エストラムステン リン酸エステルナトリウム水和物	エストラサイトカプセル156.7mg	日本新薬	術前は血液凝固能が亢進するため患者のリスクに応じて休薬、術後は血液凝固能を検査して再開②	半減期：13～14時間
Gn-RH誘導体制剤	ブセレリン酢酸塩	スプレキュア点鼻液0.15% スプレキュアMP皮下注用1.8	持田	該当資料無し	
	酢酸ナファレリン	ナサニール点鼻液0.2%	ファイザー	休薬の必要性なし②	
その他	ジェノゲスト	ディナゲスト錠1mg	持田	該当資料無し	血液凝固能は亢進しないとの文献報告あり
	ダナゾール	ボンゾール錠100mg	田辺三菱	休薬の必要性なし②	